

地球温暖化防止

エコラム ECO-LUMN

Vol.152

環境保全課 ☎ (29) 5100

地球温暖化に対する新しい動き

10月に関東甲信や東北地方を襲った台風19号は、河川の堤防を決壊させるなど甚大な被害をもたらしました。

今回の台風の特徴として、西太平洋上で発生してから海水温が30度前後の暖かい海域を通過することで、海上からの熱や水蒸気をエネルギー源として成長し、数日の間に中心気圧が大幅に下がり、勢力が急速に強まったことが挙げられます。温暖化により日本近海の海水温が年々上昇していることから、台風が成長するための条件が整っており、今後ますます強力な台風が出現することが予想されます。このような気象災害は世界全体で増えつつあり、国連は「気候危機」であるとしてその対



台風の増加も地球温暖化が影響している可能性があるといわれています

策を呼び掛けています。

昨年国連から発表された「1.5℃特別報告書」では、温暖化の進行を防ぐには、世界全体の平均気温の上昇を産業革命以前に比べ1.5度までに抑えることが必要とされています。早ければ2030年代にも上昇気温が1.5度に達する可能性があり、この10年間の取り組みが特に重要とされます。最近地球温暖化に対する関心が高まりつつありますが、私たちが行動に移さず現状の生活を維持し続けることは、未来の人々が生きる権利を奪っていると言えなくもありません。現実と向き合うこと、温暖化防止に向けて今すぐ行動することが求められています。

ごみ

ちょっと気にして、
もっと気にして!

環境事業課 ☎ (31) 5304

環境事業所 ☎ (31) 7710

総合支所

買い物はマイバッグを使いましょう!



マイバッグは買う物に合わせて、数枚用意しておくとう便利です

皆さんマイバッグはお持ちですか? 買い物の時はマイバッグを持参し、レジ袋の使用を減らしましょう!

Q. レジ袋の使用が減るとどうなるの?

A. 限りある資源の節約と環境保全につながります

レジ袋などの容器包装廃棄物が減少し、レジ袋の原料である石油の使用量の節約につながります。また生産時に排出される二酸化炭素が削減され、地球温暖化や、海洋プラスチック問題などの改善にもなります。

今年5月、国において「プラスチック資源循環戦略」が策定され、使い捨てられているプラスチックを2030年までに25%削減することが目標として設定されています。



カセットボンベは〔金属類及び破碎ごみ〕には絶対に入れないで!

穴を空けていないカセットボンベ・スプレー缶は〔処理困難ごみ〕へ、穴を空けたものは〔かん類〕へ出してください。